

令和6年度 袋原中学校の教育（グランドデザイン）

教育理念・教育目標

自立・貢献

社会に貢献できる自立した原中生

学びを通して、育成を目指す資質能力

全ての教育活動は、生徒が「社会の中でより良く生きる」ためにある。

- (1) 自ら学び考え判断・行動する力
- (2) 多様な他者と協働する力
- (3) 自分の人生と社会をより良いものにしようとする力

<目指す生徒像> 人にあたたかく 自分にきびしく 場にふさわしく

自分の生活や社会をより良いものにしていくために、当事者意識を持ち、他者と協働しながら、主体的に考え、表現、行動できる生徒。

<目指す教師像> 共創の精神 教職員・生徒・保護者・地域の協働で学校を創る。

- (1) 挑戦 教職員一人一人が知恵を振り絞り、より良い授業づくりと集団づくりに挑戦し続ける。
- (2) 信頼 生徒・保護者・地域と信頼関係を築くことができるように日々行動する。

教育ビジョン

幸福な人生と社会の創り手

実社会・実生活の課題を探究し、自己の生き方を問い続ける「総合的な学習の時間」
主体的な情報活用・対話的な言語活動・深みのある問題解決的な学習

学びに向かう力・人間性
生きて働く知識・技能
思考力・判断力・表現力

学び 各教科を学ぶ意義が分かる
「授業づくり」
(主体的に対話的な深い学び)
(各教科における見方・考え方)

協働 共に学ぶ良さを実感できる
「学年・学級づくり」
(自己を深く見つめる道徳科)
(自主的・実践的な特別活動)

授業改善 ①

自己との対話から学びを深め、他者を意識した表現を工夫する生徒の育成

- ・毎時間の授業と単元全体の見通しを持ち、自らの学びを振り返る自己調整能力を育成する。
- ・話し合い活動などを通して、自分の考えを表現しながら、他者と共に学ぶ姿勢を育成する。
- ・実社会や実生活と結び付いた学習を展開し、各教科の見方や考え方を身に付けさせる。

<今年度の重点目標>

道徳・特活の充実 ②

所属集団をより良いものにするために、主体的に考え行動する生徒の育成

- ・親和的なまとまりのある学級と学年経営のもと、他者から認められ、集団に貢献する喜びを感じることができる生徒を育成する。
- ・縦(異学年)のつながりを意識した特別活動を推進し、自ら行動することができる生徒を育成する。

総合的な学習の工夫 ③

自己の生き方を問い、自らの学びを客観的に捉えることができる生徒の育成

- ・自ら課題を設定し、より良く解決する力を身に付けさせる。
- ・ガイダンス機能と探究的な学習の環境を充実させ、多様な学び方を身に付けることができる生徒を育成する。

学校・家庭・地域による協働型学校評価

到達目標 「自律的に行動し、他者との協働を通して、自己有用感を得ることができる原中生」

「挨拶」 さわやかな挨拶を進んで交わることができる生徒

「掃除」 活動の意義を理解し、協働し効率的に掃除に取り組む生徒

「行事」 各行事の目的に沿った行動をとることができる生徒